

東京地区生コンクリート協同組合、埼玉中央生コンクリート協同組合、佐野警察署、栃木県砕石工業協同組合にも要請、意見交換を行いました。

CTGの建交労とちぎ

発行所 全日本建設交運一般労働組合
栃木県本部 〒327-0315
栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
0283-62-7312 fax 0283-62-7318
http://www.kenkourou.or.jp/
E-mail:DQJ06744@nifty.com

発注者責任で適正単価の確保を 県が現場で実態調査に取り組む

8月2日、今年も栃木ダンブキャラバン行動として、栃木県と栃木県警本部にたいして要請行動を行いました。

今年で26年目となるこの行動は、組合員が現場の声を県、県警に直接訴える重要な取り組みです。

午前中は県警本部交通指導課への要請を行いました。

2年前国会で過積載の背後責任問題が取り上げられました。県警では従来よりも積極的に荷主、荷受人も含めて過積載事案に取り組んでいることが報告されました。

組合員からは「依然として不公平感の残る取締りが見受けられる。特に近年残土を産廃専



栃木県警本部への要請

午後からは栃木県への要請を行いました。県では毎年各土木事務所が、発注工事現場で直接ダンブ労働者から単価などを聞き取る実態調査に取り組んでいます。



栃木県への要請

地場産業壊滅の危機に

今年5月に代車39人、運転手26人が聞き取りをしたことが報告されました。県は毎年労務費単価

の要請を行いました。県では毎年各土木事務所が、発注工事現場で直接ダンブ労働者から単価などを聞き取る実態調査に取り組んでいます。



都本部と関東ダンブ合同で東京都に要請

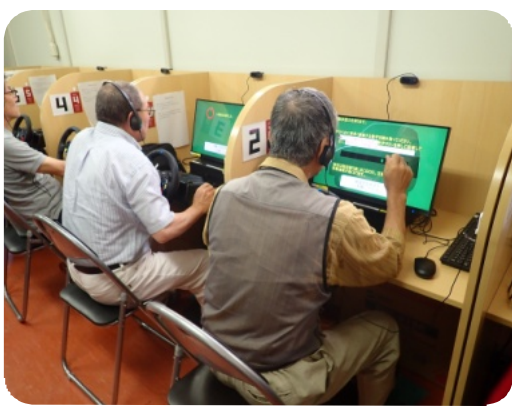
8月6日、東京都へリンピック関連工事の要請を行いました。東京都、土が地方に搬出されて

東京都内からの建設残土元請責任で適正処分を

います。新国立競技場からの残土は埼玉県のストック場に、港区内の防衛省発注現場の残土は船で三重県まで運ばれていました。なか

65歳以上の組合員対象 適齢診断の受診を開始

7月28日(日)、鹿沼市にある「とちぎ安全教育センター」で、工藤委員長と石川副委員長が受診しました。



工藤委員長「普段あまり意識していないことを自覚する機会になると思う」
石川副委員長「操作感覚が違いむずかしい。一度は受けたほうが良いと思う」

測定されず。その後シミュレーターを使ってハンドル、アクセル操作などを行い運転特性が測定されます。受診後カウンセリングも行われます。

には不適正な処分も含まれ問題になっていきます。地方が都市の犠牲になる構図です。組合では、発生者(元請)責任を明確にした適切な残土処分が実施されるよう求めています。ところが最大の残土発生自治体である東京都は、この要請にたいして「所管する部署がない」として回答を避けました。極めて無責任な姿勢です。あらためて追及する予定です。

巻き込み警報装置 大型車は義務化に

国土交通省は8トンを超える大型トラックに、左折時の巻き込み警報装置の搭載を義務化することを決定しました。

国交省が過去10年であった左折時の自



組合員の運転するダンブが東京柴又で左折時

車巻き込み事故を調べたところ、死亡事故の9割を8トン超の大型車が起こしていたことが判明しました。

いまから40年前、組合員の運転するダンブが東京柴又で左折時

に自転車の母子3人を巻き込み死亡させた事故が起こりました。

事故後、サイドミラーの大型化とアンダーミラーの増設、サイドパネルの改良、車体側面の方向指示器設置や警報音の義務化など、様々な車体にたいする安全対策が行われました。

しかし、この10年だけで自転車の巻き込み事故は7584件、死亡事故は149件発生しています。

義務化は2022年以降販売される新車が対象の予定、車体レーダーが自転車を感知し警報音などで知らせる仕組みになるようです。

松原運輸裁判 菅谷氏勝利判決

7月31日宇都宮地方裁判所は(株)松原運輸(本社宇都宮市)でドライバーとして働いていた菅谷徹也さんにたいして、会社の安全配慮義務違反を認定し3019万円の支払いを命じました。会社は控訴しました。

平成23年、ドライバーとして働いていた菅谷さんが積み降ろし作業中右手首を負傷、会社は本人の訴えを聞

かず以後も大量の野菜等の積み降ろし作業に従事させたことにより

地から届けられる背景について、考える機会にもしたいと思います。

軽貨物ドライバーも組合への加入を

後遺障害が残りました。裁判所は、会社は適時に専門医の診断を受けさせ業務量の変更をするなど、労働者にたいする安全配慮義務を怠ったと認定しました。

今回の判決は、過密労働に従事している多くのドライバーにとって重要な意義を持つもの

ネット通販の増加により、軽貨物個人事業主が増えています。確定申告、労災、自動車(貨物)保険やコーポレートカードなど、軽貨物の人にも様々なメリットがあります。ご紹介ください。

また消費者として、新鮮な生鮮食品が遠隔



大量の野菜を運搬するウイング車

【組合員紹介】荒井篤さん(ダンブ支部) 「城址ナイト」(上三川町) 行列のできるモツ煮屋台



荒井さんご家族。お客さんとのやり取りも屋台の魅力「このもつ煮が楽しみ」と話す高齢女性客も。

「主人がこ



地元の人たちの交流の場になっている「城址ナイト」

県内各地で大規模商業施設ができ、昔からあった市街地の商店街が「シャッター通り」になっていきます。

イベント「城址ナイト」を開催しています。ここでもつ煮や揚げたて唐揚げなどの屋台を出しているのがダンブ支部の木分会組合員荒井篤さん。

荒井さんと奥さん娘さんの三人で、次々来るお客さんの対応にたてこ舞いの状態。日

仲良し家族なのです。評判のもつ煮と唐揚げ、隣で焼いていた本格ピザまでごちそうになりまし

佐野ラーメン放浪記【25】

【東北道佐野SA】



お盆のストライキで一躍有名になった東北道佐野SA。8月20日の時点ではまだレストランは休業中、フードコートもラーメンのみの営業でした。今初めてSAの佐野ラーメンを食べました。味はともかく、急遽動員された感ただよ

岩手県産の新鮮野菜が佐野のスーパーで買えます。マウスをポチッと押せばアマゾンが送料「無料」で届けます。消費者は麻痺します。過剰な物流サービスを底辺で支える人達を支援していきます。